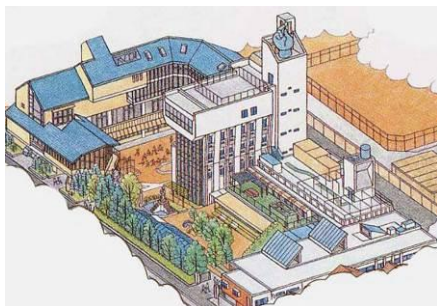


会社名 社会福祉法人四恩学園 所属 乳児院、0歳児クラス
お名前 H. S さん 職種 保育士
出身 大阪樟蔭女子大学(平成22年 児童学科卒業)

施設の概要

「0歳～100歳超の地域の方々が集う四恩学園」

「四恩」とは、父母の恩、社会の恩、自然の恩、み仏の恩。願わくば感謝の心で、ふれあい、ぬくもりのある幸せな社会をつくりましょう。



(法人本部、乳児院など)

本 部：大阪市住吉区苅田 4-3-9
施 設 名：四恩学園乳児院、児童養護施設四恩学園、
るり保育園、四恩乳児保育園、みろく夜間保育園、
四恩るり2乳児保育園、みろく2夜間保育園、
児童館もんじゅ、子育て支援センター、
ふれ愛の館しおん(高齢者)、ホームヘルプセンター、
住吉区東地域包括支援センター、配食サービス、
ケアプランセンター、苅田地区食事サービス委員会

沿 革：大正4年(1915年)大阪の現在の西成区で、浄土宗の青年僧侶たちが始めた事前運動(セツルメント運動)が始まりで、2015年には、創業100年を迎えます。

仕事の内容

◇どんな仕事

事情があって親と一緒に暮らすことができない子どもたち(乳幼児)を親に代わり、24時間、365日、職員が交代で保育しています。衣食住の確保や、世話をするだけでなく、子ども一人一人が抱えている問題にも対応しています。入所している子どもは、虐待を受けた子ども、障害を持っている子ども、心に傷を負った子ども、様々です。そんな子供たち一人一人に深く愛情を注ぎ、一人一人に日々適切な関わりを持っています。乳幼児期は人間形成にとって、とても重要な時期です。そのような時期の子どもたちに密に関わっています。

◇仕事の流れ（代表的な一日の動き）

早出・日勤・遅出・夜勤と不規則な勤務です。ミルクを作る、授乳、排泄、子どもと遊ぶ、お風呂に入れる、寝かしつける、ごはん配膳、掃除、洗濯、食器洗い、病院受診、入眠中の見回りや、また、子ども一人一人に合った関わり方を考えたり、職員同士で話し合ったりしています。



仕事のやりがい（嬉しかったこと、つらかったこと）

やりがいは、自分たちの関わりによって、子どもたちが心身ともに発達や成長していく姿を直に見られるところ、感じられるところです。つらいことは、子どもが乳児院から養護施設へ移動するときや、親や親族、また里親に引き取られた子どもが、再び施設へ入所したときなどです。

仕事上の成功談や失敗談

子どもの人数が多いですが、一つ一つの行動（排泄や食事介助、お風呂入れなど）が、流れ作業にならないよう心掛けています。短い時間の中でも関わりを大切に考えています。

この勤め先を選んだ理由

実習でお世話になり、無邪気に笑っている子どもたちを見て、本当に可愛いなと思い、そんな子どもたちの役に立ちたいと思い選びました。

この仕事に必要なもの（スキル、能力など）

子どものことを一番に考えられる人です。



今後の目標

上の人からの指示を聞くだけでなく、自分の意見・考えをきちんと持ち、発言や提案が出来るようになり、子どもだけでなく、職員にとってもより良い学園を作っていきたいです。

就職活動へのアドバイス

幼稚園や保育園や施設と、どこで働こうかと悩むと思います。実習先の先生に「どうしてここに決められたのか？」など聞くのも、色々な考え方を聞いて参考になると思います。どの職種に就かれても、一緒に子どもたちの明るい未来のために頑張っていきましょう。



（平成26年度新任研修会 ～福祉の心を学びました～）